

山間部における無人航空機を活用した荷物配送(ドローン物流)の早期実用化に向けた実験を実施。



村営八方池山荘

- 実施日時：平成30年10月22日(月)午前10時～16時
(予備日23日(火)、気象状況等によっては中止する可能性があります。)
- 実施場所：長野県白馬村 八方尾根スキー場黒菱林道終点～村営八方池山荘
- 実施主体：白馬村山岳ドローン物流実用化協議会(代表事業者：(株)白馬館)

■検証実験内容

長野県白馬村八方尾根スキー場の黒菱林道終点(標高1,500m)から直線距離約1km(飛行時間約5分)の距離にある村営八方池山荘(標高1,850m)間において、現状ヘリコプターで実施している食料等配送を一部ドローンで実施。 ※4往復程度実施予定

【検証実験シナリオ】

往路:食料等を配送

八方尾根スキー場の林道終点から、食料等約3～5kgを山荘に配送。

復路:登山客のゴミ等を回収

山荘にて食料等を取り外し、登山客のゴミ等を搭載し、再びスキー場上空を飛行し、林道終点へ回収。

※今回の検証実験では、目視外飛行時の安全を確保するため、飛行ルートの中地点に補助者を配置し実施。



使用機体:神旗GF1-01



【機体仕様】

機体重量:14.5kg
最大離陸重量:24.5kg
最高速度:約25km/h
最大搭載可能重量:10kg
最大フライト時間:16分
飛行可能風速:10m/s未満



荷物昇降試験用
ドローンリール

ドローン搭載カメラ

カメラからの映像を
リアルタイムで確認

■検証項目(現状ヘリコプターで実施している配送とドローンで代替した場合を比較)

- ① CO₂排出量削減効果
- ② 費用対効果(イニシャルコスト、ランニングコスト) 等